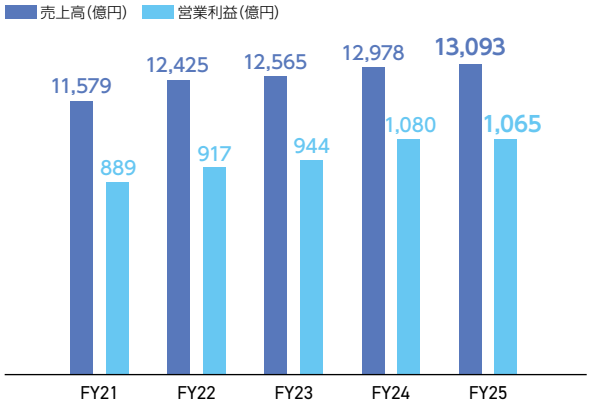
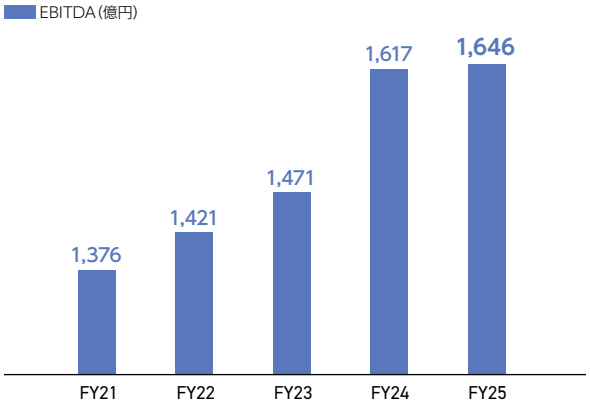
財務ハイライト

売上高・営業利益



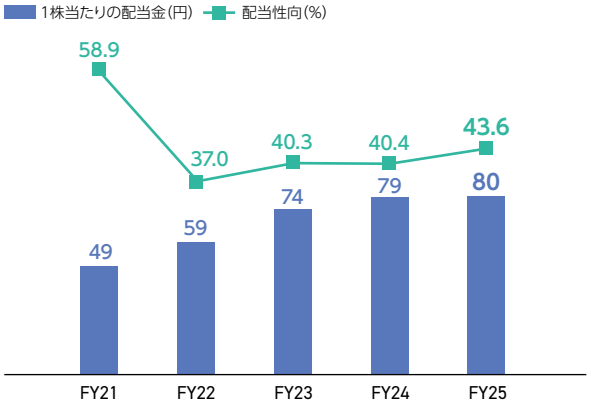
4期連続で最高売上高を更新しました。
高付加価値品へのシフトや売値改善効果もあり、営業利益は引き続き、1,000億円を超過しております。

EBITDA



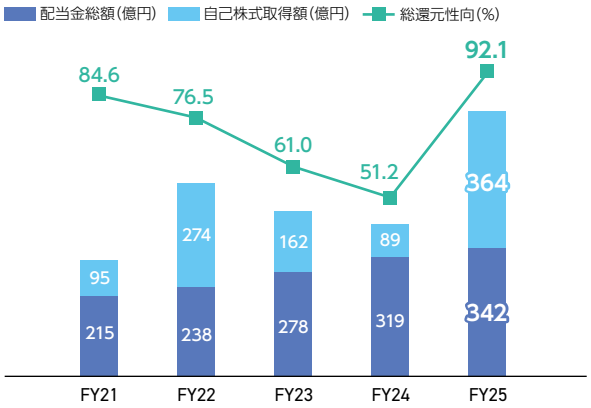
積極的な投資により稼ぐ力は着実に強化され、EBITDAは過去最高の1,646億円となりました。

1株当たりの配当金・配当性向



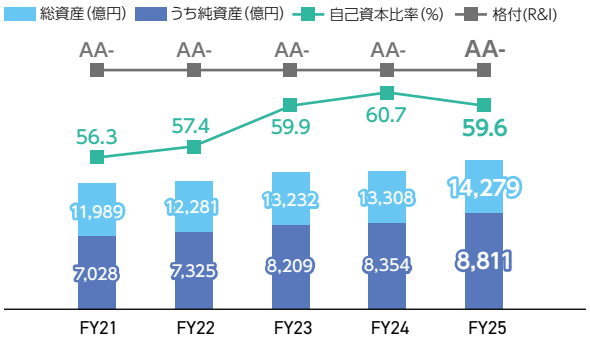
業績に応じた、安定的な配当政策に基づき、配当を実施いたしました。
年間配当金は1株当たり80円で、16期連続の増配となりました。

配当金総額・自己株式取得額・総還元性向



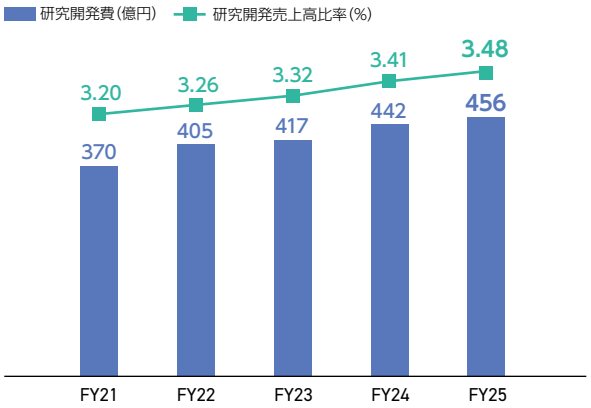
経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行すると共に、積極的な株主還元の一環として、自己株式364億円(1,400万株)の取得を行いました。

総資産・純資産・自己資本比率



総資産は成長領域を中心とした積極投資の結果、971億円増加し、14,279億円となりました。
純資産は、積極的な株主還元を行いましたが、当期利益や為替効果等もあり、458億円増加し、8,811億円となりました。
自己資本比率は59.6%となり、格付もAA−を維持するなど、強固な財務基盤を維持しています。

研究開発費・研究開発費売上高比率



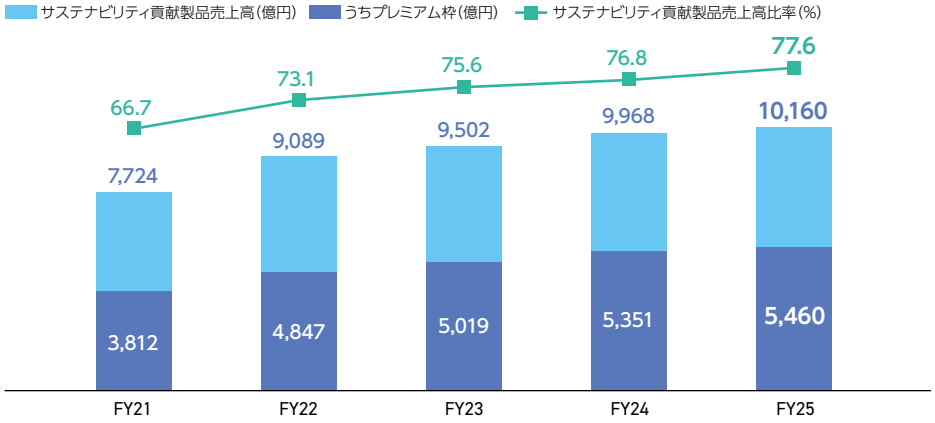
高機能プラスチックスカンパニーや新事業分野における、成長牽引・成長期待事業領域を中心に、先端技術で際立つための研究・開発を進めた結果、研究開発費は456億円となりました。

財務データの詳細はFACT BOOKをご覧ください。 https://www.sekisui.co.jp/ir/document/factbook/

非財務ハイライト

サステナビリティ貢献製品売上高

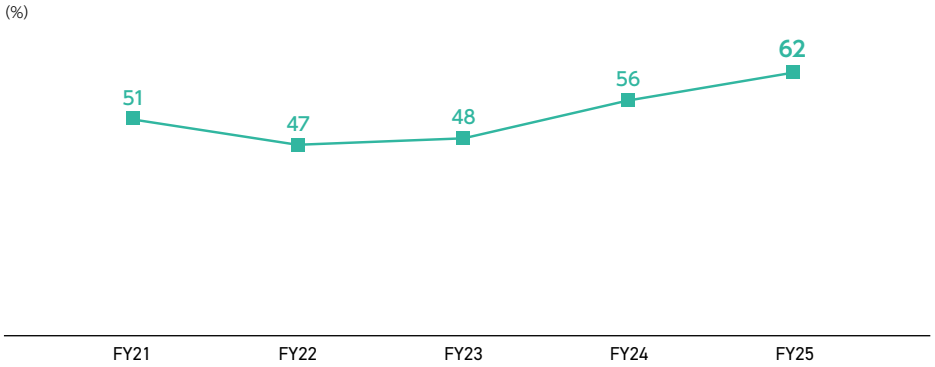
P.18



重要な指標と位置付けているサステナビリティ貢献製品の売上高は10,160億円、売上高比率は前年度比+0.8%の77.6%となりました。うちプレミアム枠の売上高も5,460億円に伸長しました。

挑戦行動発現度※

P.49

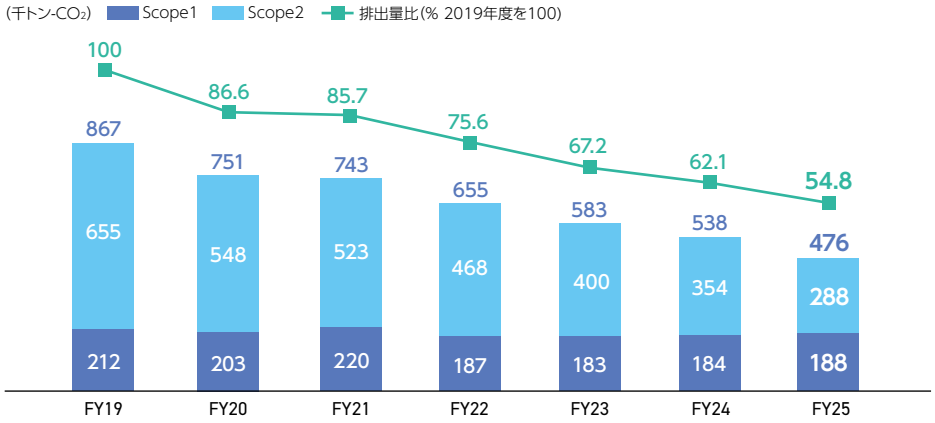


当社グループでは、長期ビジョンの達成のためには、従業員一人ひとりの挑戦が不可欠であると考えており、誰もが挑戦したくなる活力ある組織を目指しています。主体的な手挙げによるキャリア実現を支える仕組みや挑戦を後押しする風土の醸成に向けた取り組みの積み重ねが、従業員一人ひとりの挑戦を引き出すことにつながっており、挑戦行動発現度は対前年を上回る結果となりました。

※「私は「Vision 2030」の実現に向けた具体的な挑戦行動を起こしている」という設問に対して、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した割合

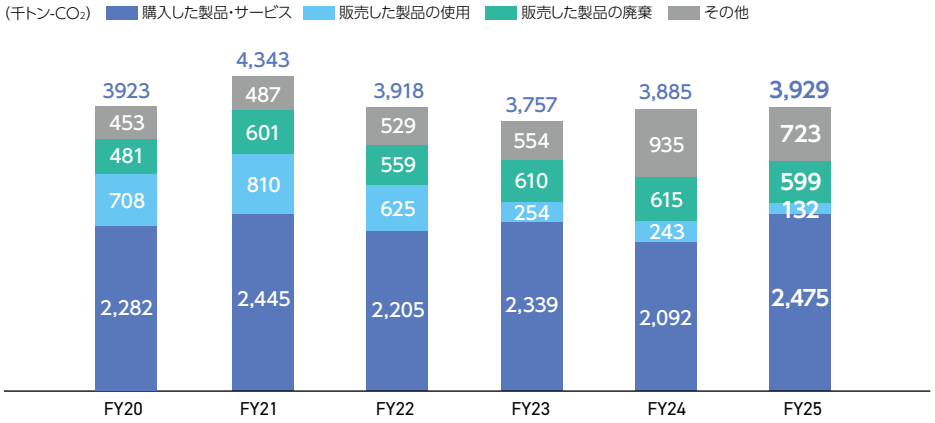
事業活動によるGHG排出量(Scope1+2)

P.44



老朽設備更新促進などの「エネルギー消費革新」や、購入電力の再生可能エネルギー転換や自家消費型太陽光発電設備の導入などの「エネルギー調達革新」を進めた結果、自社の事業活動によるGHG排出量(Scope1+2)の削減率は2019年度比で45.2%に達しました。

サプライチェーンのGHG排出量(Scope3)



Scope3全体では2019年度比で4.6%減となりました。「購入した製品」への働きかけ強化の一環として、新規材料採用時の選定基準の見直しを行いました。また、低炭素なバイオマス由来原料や再生材料の提供の可能性についてもサプライヤーに確認し、代替の検討についても開始しています。

非財務データ

サステナビリティ貢献製品	(単位)	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025
売上高比率	%	66.7	73.1	75.6	76.8	**77.6**
売上高	億円	7,724	9,089	9,502	9,968	**10,160**
サステナビリティ貢献製品の新規登録件数	件	28	18	11	9	**5**

人的資本	(単位)	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025
連結従業員数	人	26,419	26,838	26,929	26,918	**26,752**
ダイバーシティ(単体)						
新卒女性採用比率※1	%	22.2	28.1	31.4	28.1	**31.7**
キャリア採用比率/うち女性比率※2	%	21.4/13.6	39.9/15.3	42.7/16.7	47.5/22.4	**47.9/19.5**
女性管理職比率	%	4.3	4.5	4.9	5.3	**5.7**
女性取締役比率(株主総会終了時点)	%	10.0	25.0	25.0	25.0	**33.3**
障がい者雇用率	%	2.5	2.3	2.4	3.1	**2.7**
育児休職取得率 女性/男性	%	100/47.3	100/68.1	97.1/69.8	92.9/90.1	**100/93.3**
定着率(単体)※3	%	97.5	97.0	97.5	97.8	**98.4**
キャリア形成・人材育成						
挑戦行動発現度※4	%	51	47	48	56	**62**
国内グループ公募実績 異動人数/応募人数	人	55/236	54/188	53/188	46/178	**83/239**
国内グループ公募型研修(変革塾)参加者数	人	102	102	54	63	**76**
正社員一人当たり研修受講時間(単体)※5	時間	7.1	6.1	6.2	6.8	**8.3**
後継者候補準備率※6	%	50.5	67.7	92.4	88.1	**104.1**

※1 新卒採用:社会人未経験で学校(大学・大学院等)卒業後に初めて入社した社員
※2 キャリア採用(経験者採用)比率:全採用者に占めるキャリア採用者の比率
※3 定着率:1-(当該年度の離職者÷4月時点の在籍者)×100
※4 「私は「Vision 2030」の実現に向けた具体的な挑戦行動を起こしている」という設問に対して、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した割合
※5 積水化学コーポレート人事部で開催している研修
※6 ビジネスリーダー最上位ポストの後継候補者数÷同ポスト数

環境	(単位)	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025
サプライチェーン全体でのGHG排出量	千トン-CO_2	5,086	4,573	4,340	4,423	**4,405**
Scope1+Scope2	千トン-CO_2	743	655	583	538	**475**
うち国内	千トン-CO_2	296.4	256.0	234.8	208.0	**182.8**
うち海外	千トン-CO_2	446.9	399.2	348.3	330.3	**291.5**
Scope3	千トン-CO_2	4,343	3,918	3,757	3,885	**3,929**
生産時のエネルギー使用量(国内)	TJ	3,507	3,258	3,130	3,060	**3,049**
生産時のエネルギー使用量(海外)	TJ	6,922	6,658	6,530	6,528	**6,045**
購入電力の再生可能エネルギー比率	%	19.7	36.4	49.5	61.0	**72.4**
生産事業所の廃棄物発生量	千トン	68.9	71.2	64.9	67.7	**68.3**
生産事業所の廃棄物リサイクル量	千トン	63.2	63.1	58.0	60.8	**61.3**
住宅新築時の廃棄物発生量(国内)	トン/棟	2.23	2.17	2.04	2.00	**2.03**
生産事業所の取水量(国内)	千m^3	14,247	13,449	13,276	14,062	**13,992**
生産事業所の取水量(海外)	千m^3	7,290	7,319	7,571	7,475	**7,613**
COD排出量(国内)	トン	69.5	58.7	71.1	64.5	**43.6**
VOCの大気排出量(国内)	トン	609	560	1,028	724	**622**

内部統制	(単位)	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025
重大インシデント発生件数※7	件	-	-	0	0	**0**
安全※8						
労働災害件数(うち死亡労災事故)	件	68 (0)	74 (0)	74 (0)	73 (0)	**78 (0)**
設備起因災害発生件数(うち重大設備事故)	件	4 (0)	4 (0)	8 (0)	10 (0)	**5 (1)**
度数率(国内)※9		0.39	0.29	0.96	0.64	**0.84**
品質						
重要品質問題の発生件数	件	1	2	1	0	**0**
外部損失費(FY2022=100)※10		-	100	95	99	**72**
法務・倫理						
重大なコンプライアンス違反および過失	件	0	0	0	0	**0**
情報管理						
サイバーセキュリティインシデント※11	件	0	0	0	0	**0**

※7 現在の内部統制に瑕疵があり、かつ対外公表した事案
※8 対象:生産事業所・研究所・施工事業場
※9 当該年度(4月～翌年3月)の総労働時間1,000,000時間当たりの休業災害死傷者数
※10 製品に関するクレーム対応の費用
※11 外部からのサイバー攻撃を起因としたウイルス感染、情報漏洩、基幹システム停止等のうち重大な影響を及ぼすもの

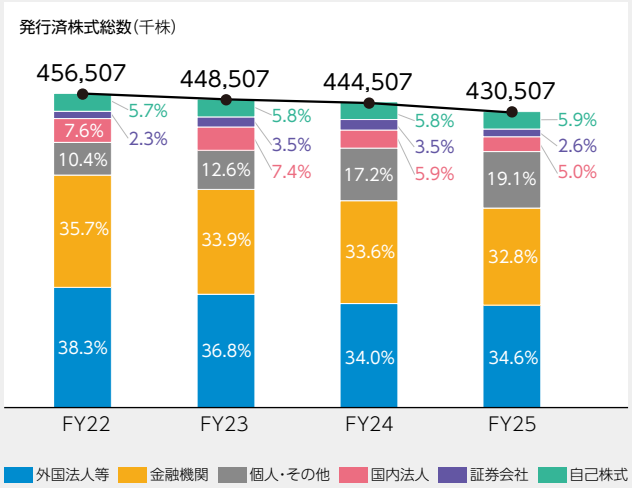
非財務データの詳細はサステナビリティレポートをご覧ください。 https://www.sekisui.co.jp/sustainability_report/

会社情報・株式情報 (2026年3月31日現在)

積水化学工業株式会社

大阪本社	大阪市北区西天満2丁目4番4号
東京本社	東京都港区虎ノ門2丁目10番4号
設立年月日	1947年3月3日
連結従業員	26,752名
連結子会社	145社
持分法適用関連会社	6社
資本金	1,000億237万5,657円
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
会計監査人	有限責任 あずさ監査法人
上場取引所	東京
証券コード	4204
株主数	155,940名
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
発行済株式数	430,507,285株

発行済株式数と所有者別分布推移



2025年度における社外からの主な評価

ESG指数

- FTSE4Good Index Series 選定
- FTSE JPX Blossom Japan Index 選定
- FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index 選定
- Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index 選定
- MSCI ESG Leaders Indexes 選定
- MSCI 日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数 選定
- MSCI 日本株女性活躍指数(WIN) 選定
- S&P/JPXカーボン・エフィシェント指数 選定

ESG関連ランキング、表彰等

- 東洋経済2026年版「CSR企業ランキング」61位
- 「健康経営優良法人ホワイト500 2026」に認定
- 「Nextなでしこ 共働き・共育て支援企業」に選定
- 「プラチナくるみん」に認定

環境

- CDP2025年「気候変動」および「水セキュリティ」分野の情報開示においてAスコア、「フォレスト」分野でA-スコアを獲得
- CDP2024年サプライヤーエンゲージメント評価で最高評価の「サプライヤーエンゲージメント・リーダー」に選定
- GHG削減の「1.5℃目標」で「SBT(Science Based Targets)イニシアチブ」の認証を再取得(2023年3月)
- 日本政策投資銀行の「DBJ環境格付」で最高ランクを取得
- 第7回「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」資金調達者部門で金賞を受賞

当社は、2025年3月日本政策投資銀行(DBJ)より環境格付融資を受け、格付結果は「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」と評価されました。

株式情報 https://www.sekisui.co.jp/ir/stocks/irinfo/

社外からの評価 https://www.sekisui.co.jp/sustainability_report/pdf/report_2026/sustainability_report2026.pdf?20260730f#page=189

統合報告書2026の発行にあたって



西田 達矢

代表取締役 専務執行役員
ESG経営推進部、財務部、経理部及び
新事業開発部担当、経営戦略部長

積水化学グループは、2026年度に長期ビジョン実現に向けての3rdステップとなる中期経営計画を始動いたしました。本統合報告書では、当社グループが事業戦略と基盤強化の両輪で、攻めのESG経営を実践し、どのように企業価値創造に取り組んでいるのかを説明しています。

編集にあたっては、機関投資家の皆さまと対話する中でお寄せいただいたご提言やご意見を可能な限り反映するよう努めました。本統合報告書を当社グループをより深くご理解いただくためのツールとして、また建設的な対話の一助としてご活用いただければ幸いです。今後も企業価値向上に取り組むと共に、皆さまへの丁寧かつ分かりやすい説明を心がけてまいります。

積水化学工業株式会社

〒105-8566 東京都港区虎ノ門2-10-4
https://www.sekisui.co.jp/

お問い合わせ先
コーポレートコミュニケーション部 IRグループ
https://www.sekisui.co.jp/ir/support/form/